



4 2024

発行所 大阪府中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jiho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙 「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 教区報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 司教階級ラチナイヤモド金銀鏡 (2・3面)
- ☆ 2024年 教区年間予定 (4面)
- ☆ 日本のシノドスのつどい (5面)
- ☆ 仁豊野教会創立75周年記念ミサ (6面)
- ☆ 司牧者からこの一冊 (6面)
- ☆ ガラシア健康だより (6面)
- ☆ カテキズムの学び (6面)
- ☆ 2024年司教司牧者事典第2次 (7面)

「教区報」原稿・資料等の締切は前々月末です。

康によりマニラへ追放され、64歳をもって召天されたという内容であった。(文 右近と歩む会 三島克己)

支援が始まる

令和6年能登半島震災

令和6年能登半島地震への継続的な支援を行うために、名古屋教区は1月10日の通達でカリタスとサポートセンター(以降、サポセン)の設立を発表した。

名古屋教区の方針に伴い、カトリック中央協議会復興支援室内「緊急対応支援チーム(Emergency Response Support Team)」(以降、ERS)が現地に入り、支援活動が始められるように人員や体制づくりのサポートを行うこととなった。

ERSのメンバーは、東日本震災の際に、各地に設立された支援拠点でスタッフをしていた人材が担っている。それぞれの経験を生かして、災害時の支援活動が円滑に進むように調整とサポートを担っている。

サポセン設立当初からボランティア受け入れのための準備と並行して被災地のニーズ調査を行ってきた。羽咋市に支援拠点を準備して、七尾市から被災地支援に入ることもあった。被災地では、震災当初から現在(3月20日時点)でも、全域でライフラインが完全復旧していない。電気やガスは復旧したが、水道に関しては水道管の破裂などもあり復旧が遅れている。水道が通っても生活用水に使用できるだけで飲料水としては使用できない地域もある。そんな中で、初めに、サポセンとしては、七尾市と輪島市にあるカトリック幼稚園へのウォーターサーバーの支援から始めた。そのつながりの中で、七尾市の聖母幼稚園前での炊き出しへとつながり地域の方への支援活動を開始した。避難所を離れ、被災したご自宅で生活をしている人が多い



生活用水を軽トラで届ける

地域で、炊き出しなどの外部団体からの支援が届かない地域もある。その後、生活用水も届いていない地域へ軽トラに300ℓのタンクを積んで水支援を始めた。炊き出しと水支援は現在でも行われている。炊き出しは、名古屋教区の小教区活動として続けていくこととなり、サポセンは水支援を行っている。今後は輪島市で水支援の活動をすることを目標としている。

今回の被災地支援の難しいところは、道路の寸断や各自治体でのマンパワー不足がある。災害ボランティアセンターを自治体が設立しても運営するスタッフが足りないところも多い。そのため、石川県ではボランティアの受け入れを県の社会福祉協



七尾教会(右側)と七尾ベース宿泊所(左奥水色の建物)

議会が一括して行い、自治体のボランティアセンターへ金沢から送迎バスで送るといった方法をとっている。各自治体での直接の受け入れは自治体に住所登録がある人だけとなっている。そんな中で、サポセンでは、七尾市での炊き出しや水支援の実績と、七尾市にベースを設立することから七尾市の災害ボランティアセンターと直接つながり、現在は瓦礫運搬をする活動に関わらせていただいている。(文 カリタスとサポートセンター 深堀 崇)

中川博道神父(カルメル修道会)による「右近が、デウス(神)を選び続けた原点を探して」の講話が行われた。

第一部

「右近は「慈悲の組」(ミゼリコルディア)において「キリストに倣いて」(コンテンツス・ムンデ)を實踐した生涯であった。茶道に励み、茶室を祈りの部屋として伝道した。3つの試練であった和田惟長との死闘、荒木村重と織田信長との対立、35歳の時の伴天連追放を経験し、二度の霊操参加を体験。徳川家

第二部

列聖祈願のつどいに続き、福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願ミサが前田万葉大司教の司式でささげられた。



列聖に向けて祈りをささげる

福者ユスト高山右近 列聖祈願のつどい・ミサ

福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願のつどいが2月3日、150人の参加によって大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂で開催された。



講話「右近が、デウスを選び続けた原点を探して」中川博道神父

私たちがこの呼びかけに、個人で、小グループで、また小教区で右近のとりなしによる奇跡を願い求めましよう。(文 列聖推進委員会 委員長 春名昌哉)

金祝・銀祝おめでとうございます



プラチナ祝(70周年)を迎えられた司祭

宣教師への憧れ



グーゼンス・ロベルト神父 (淳心会)

1928年12月23日、ベルギー生まれ。1954年9月12日司祭叙階。1965年来日。来日後、長崎司教区の小神学校にて教鞭を握る。60、66年、大阪大司教区の小神学校の校長を務め、その後、主に大阪大司教区の姫路教会、堺教会、

金剛教会にて司牧。73年、社会福祉法人を設立し、泉北にて「保育園平和の園」を開園。82年まで園長兼東北教会責任司祭を務める。

92年より、モンゴルで宣教活動を開始する。98年に、モンゴルでの宣教を終え日本に戻り、聖書講座や聖書研究、黙想会などの活動に携わり、現在は仁豊野レジデンスにて静養。

「小さな頃から宣教師の存在が身近にあり、彼らにとても憧れていました。神を知らない人や、また人びとのより神を知るために宣教師を目指しました。その経験は私の宣教生活をより豊かなものにしてくれました」。

ダイヤモンド祝(60周年)を迎えられた司祭

かかわった信徒の数は?



洗礼者ヨハネ 硫黄 隆二 神父 (オプレート会)

1930年9月6日生まれ。1957年4月徳島県鳴門市からサンスルピス大に入学。帰国後、上智大学神学部卒業、1964年6月14日、徳島教会で司祭叙階、高知県赤岡教会に就任。1年後ブラジルS・Pスザノ市教会に就任。市

の人口の約5万人の中、約28,000人が日系人であった。ミサは6時30分、8時、9時30分、11時、午後1時30分(幼児洗礼、毎日曜日10、15人)、午後3時は日本語のミサ、5時、7時、他に田舎のミサがあった。「私は約2,000人の幼児に洗礼を授け、ご聖体を授けたのは60万を越えたことと思う。5年契約であったが他の教会に移り、2年後、日本に帰り、伊丹教会に就任した。当時は侍者が20人ほどいた。わたしは海での水泳が好きで侍者たちと鳴門や高知の海岸のキャンプに行った。福岡市吉塚教会も楽しい教会であった」。

神のご計画を伝え続ける

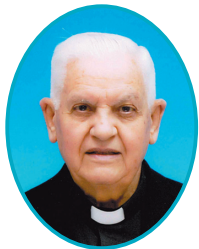


レオナルド 乾 盛夫 神父 (オプレート会)

1935年2月15日徳島県鳴門市生まれ。1964年6月14日に司祭叙階。

古賀(福岡県)の幼稚園と教会、鳴門(徳島県)の幼稚園と教会で司牧。長年、幼稚園園長に携わり、モンテッソーリ教育を通して子どもたちや職員を大事にしてきた。現在の任地、居住場所は徳島県鳴門市。趣味は生き物や植物の世話や対話。

世界に伝えたいこと



ゴンザレス・イスマエル神父 (スペイン外国宣教会)

1938年7月19日スペイン・バレンシア生まれ。1964年7月5日ブルゴスにて司祭叙階。その年、カルフォルニア州ロサンゼルスで司牧。1969年来日。坂出、丸亀、甲子園教会で司牧。1988年マドリッドのIEME本部で秘書に就任。1993年再度来日し善通寺教会で司牧。2008年IEME本部で総長に就任。任期満了後、

2013年から徳島教会で司牧。2020年から坂出と阿波、池田教会に着任し、現在にいたっている。「日本での43年間の司牧生活とともに幼稚園園長として20年、教師として8年間務めました。私はヨーロッパと違う歴史と文化をもつ日本に、子どもの時から興味がありましたから、宣教師としてはたらくことが決まった時の喜びは、とても大きかったです。両親は別れを惜しみましたが、神の心を尊重しました。日本には自然を敬う愛があり、富士山を代表とする山々、美しい庭園と樹木、変化に富む川、手入れされた田畑、動物愛護の精神、何よりも人びとのきめ細やかで質の高い教育等は世界に伝えねばならない大きな価値があ

「これが天のお父様、神様のご計画。それを伝えていくために、天の御子が人となり、イエス様が実行なさった。そして教会という形で伝えていく。それは私で終わることではなく、次から次へ伝え続けていく。これが教会の命。そのために私は叙階された。いつも思うが、これは本当に不思議。偉いことでも何でもない」。



るでしょう。そのような日本で、私は今後も神の国のために力ある限り司牧したいと思っています。この場をお借りして、信徒の皆さまに感謝を申し上げ、祈りを込めて頭を垂れたいと思います。ありがとうございます」。

金祝(50周年)を迎えられた司祭

ワクワク、ズキズキするわ!



フランシスコ・サレジオ 赤波江 謙一 神父 (聖パウロ修道会)

1944年9月30日 福岡県生まれ。1974年6月30日司祭叙階。

「聖アントニオ大神学校を卒業して司祭叙階式までの3か月間を福岡の小神学校ですごしていたとき、一人の教区司祭に出会いました。何の気なしに漏らした私の悩みごとに対して彼は言いました。『君は自分のために司祭になろうとするとじゃなかと? そうやなかやろが。キリストのために司祭になるつちやろが。だったら、そげなことでは必要はなか。司祭にならんね。そうすれば後はキリストが考えてくださる。』

考えたこともなかったのですが、実際、私は自分が自分のために司祭になるうとしていたことに気付いていなかったのです。おかげで迷いが吹っ切れて叙階の恵みに進みました。それから50年。キリストは私をさまざまなおりに派遣なさいました。『えっ、何でや?』と頭を抱えるようなところばかりです。そのたびに、叙階前の言葉がキリストの言葉として思い出されました。大阪に行けと言われたときもそうでした。郊外の西淀川区に住んでいますが、住めば都です。今度は何て言われるんやろ? ワクワクズキズキするわ!」



経歴とコメントはご本人からいただきました。

〈金祝〉
ご本人の希望によりメッセージをご辞退された司祭一名。

〈銀祝〉
パツラリス・フェルナンド神父(教区)は現在海外赴任中です。
ともにご健康と今後のご活躍をお祈りいたします。



司祭叙階 プラチナ・ダイヤモンド

銀祝(25周年)を迎えられた司祭

叙階記念カードのことは



ベトロ 岩崎 武 神父 (教区)

1963年4月28日生まれ鳥取県米子市出身1999年5月30日、高松にて叙階。
高松司教館付から、小豆島、西条、新居浜(西条兼任)、八幡浜、教区事務局、小豆島をへて、

一番のたのしみは？



オソリオ・フェルナンデス・アントニオ神父 (教区)

1961年2月28日スペインラマンチャ地方生まれ。1999年5月30日叙階。「司祭叙階後1年間は新居浜教会で過ごしその後、大分教区の日向教会、玖珠教会で9年間過ごしました。難しい生活の中にも楽しく素晴らしい時代でした。つぎにフランスに派遣され、トゥロン地方の教会で12年間勤務、その間にスペインも近かったので、

現在は高知地区の江ノ口(中島町兼任)在中。

「これといった趣味は特にはないです。」

司祭に叙階されてから、25年経とうとしているなか、いろんなことを考えてしまいます。ただ、その日が来たときに、叙階が決まった時に感じ、記念カードの言葉として選んだ出エジプト記の『主、憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ちる方』であると改めて実感できるような祈るのみです。

故郷の母を兄弟とともに世話をしながら司祭として働きました。フランスでの体験はその国の文化や信徒たちとの出会いが、私の司祭生活の中で大きくプラスになりました。その後、司教様の呼びかけにより、高松教区に戻り、再び日本での宣教活動に入りました。現在は丸亀教会と普通寺教会で楽しく働いています。暖かくて優しい、また、ときには厳しい信徒たちに囲まれて楽しく過ごしています。一番の楽しみは四季折々に変化する景色の丸亀城への散歩をすることです。

放蕩息子



パウロ 高島 政行 神父 (教区)

1999年3月22日司祭叙階。

「12歳から小神学校に入り大学卒業時に養成担当司祭との行き違いによって司祭召命の道を辞め信徒として歩んでいましたが、37歳で再び召命への道に戻り43歳で叙階の恵

司祭になったきっかけは？



ヌノ・リマ神父 (ポアノヴァ宣教会)

1973年8月30日、ポルトガル生まれ。1999年7月11日司祭叙階。
99年来日。布施・枚岡・八尾教会で司牧した後、ローマ・グレゴリアナ大学で神学を学び、2018年神学博士号取得。2018年から玉造

人びととの出会いと関わり



パウロ 中島 貴幸 神父 (オプス・デイ属人区)

1965年8月2日、西宮市生まれ。1999年6月6日司祭叙階。長崎の精道学園指導司祭をへて芦屋のセンターを中心に司牧にあたる。「長崎教区、大分教区、大阪高松教区で、オプス・デイのセンターの活動に携わりながら、司教様方、司祭方、修道者の方々、多くの信徒の方々

みを頂きました。

韓国で1年間語学研修の後、堺・泉北・金剛・二日市・橋本・北野・桜宮・福島・姫里・関目・大阪梅田・なみはや・住之江・玉造。そして現在堺ブロック(堺・泉北・金剛・橋本のチームメンバー)として司牧し、学校教育推進委員として学校や幼稚園で働いています。

放蕩息子であった私を再び兄弟として受け入れてくださった安田大司教様や司祭修道者の皆さん、今まで祈り支えてくださったすべての教区民の皆さん、そしてなによりも私をあわれみ、そして選んでくださった神に心から感謝を捧げます。

教会で司牧している。

「司祭になったきっかけは小学生の頃、同じ教会で神父が誕生したことでした。それはいろんな宣教師の話を聞くチャンスになり、12歳でポアノヴァ宣教会の小神学校に入りました。異なる言葉や文化の人びととの出会いの中で、神の愛を分かち合うために宣教の道に進み、26歳で日本に来ました。それから25年経っています。今後も人生の後半で皆さんに支えられて、多くの人びととの出会いの中で神の愛を分かち合いたいと思っています。」

毎日が記念日



ヨセフ 林 和則 神父 (教区)

1961年1月8日、東大阪市生まれ。在日韓国人三世。1999年3月22日司祭叙階。

かわちブロック(布施・枚岡・八尾)、泉尾ブロック(泉尾・市岡・住之江)、徳島教会、阿倍野ブロック(阿倍野・大阪田辺・平野)、垂水教会などを担当、現在

多くの若者と かかわりたい！



ペトロ 増井 啓 神父 (イエズス会)

1964年6月8日山口県下関市生まれ。1999年9月12日山口教会で司祭叙階。以後、鎌倉、福岡のイエズス会(中学・高校)で働き、現在、六甲教会に居

いてくださったのだと、今更ながら気づいています。次の25年が楽しみです。キリストがいつも多くの人びとと共に生きていたように、人びとと共に生きていく司祭となれるよう、お祈りを願います。」

は香里教会の主任司祭。

「趣味は読書。次に音楽鑑賞、大好きな作曲家はブルックナーで、大学生時代に受洗しましたが、その際にカトリック教会を選んだ理由のひとつは彼が敬虔なカトリック教徒であり、また彼の交響曲の『カトリック的』な音響空間の広がりに魅せられていたからです。そして散歩、特に森の中を散策するのが好きです。」

銀祝、というよりも毎日が司祭となることができた記念日です。特にミサを捧げるたびに、私のような者を司祭にしてくださいと神の恵みに感謝せずにはおられません。」

住し、六甲学院で聖書や倫理を教えたり、教会で洗礼志願者のための入門講座を担当したりしている。趣味は、兵庫県内の山に登ること。「司祭叙階25年にあたり、これまで、イエズス会の伝統的な使徒職である青少年にキリスト教を伝えることに専念してきたと思っ



2024年度 大阪高松教区 年間予定

緑……典礼歴(祝祭日)

赤……祈願日など

黒……教区行事・その他

※予定は変更になる場合があります。



4 月	
7 日	神のいつくしみの主日
8 月	アドリミナ(~15日迄)
21 日	世界召命祈願の日
24 水	10時 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会

5 月	
5 日	世界広報の日
9 木	[常任司教委員会]
12 日	主の昇天
14 火	西日本司祭団 ソフトボール大会
19 日	聖霊降臨の主日
20 月	教会の母聖マリア
22 水	10時半 甲山墓参
26 日	三位一体の主日
29 水	10時 顧問会・責任役員会

6 月	
2 日	キリストの聖体
6 木	[常任司教委員会]
7 金	イエスのみ心
8 土	聖母のみ心
10 月	大阪管区司牧者研修会 (~11日迄)
23 日	聖ペトロ使徒座への献金
24 月	洗礼者聖ヨハネの誕生
29 土	聖ペトロ 聖パウロ使徒 パウロ酒井俊弘補佐司教霊名
30 日	14時 教区宣教司牧評議会

7 月	
1 月	福者ペトロ岐部司祭と 187殉教者
4 木	[常任司教委員会]
10 水	10時 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
16 火	[臨時司教総会](~19日迄)

8 月	
4 日	カンボジア教会の日の献金
6 火	主の変容 平和旬間(~15日迄)
10 土	青年と子どもの練成会 (~12日迄)
15 木	聖母の被昇天 共同司教座(桜町)献堂 (教区本部事務局 休業)
16 金	教区教員養成会(~17日迄)

9 月	
1 日	すべてのいのちを守るための月間 (~10/4迄) 被造物を大切に作る世界祈願日
5 木	[常任司教委員会] 臨時司教総会(~6日迄)
11 水	10時 顧問会・責任役員会
14 土	十字架称賛
15 日	祖父母と高齢者のための 世界祈願日
23 月	14時 病者・障がい者とともに 歩むミサ(カテドラル)
25 水	教区健康の日
29 日	世界難民移住移動者の日(献金)

10 月	
3 木	[常任司教委員会]
7 月	ロザリオの聖母 大阪高松教区 守護聖人
9 水	10時 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
20 日	INTERNATIONAL DAY 世界宣教の日(献金)
23 水	10時半 司牧者集会
27 日	教区典礼研修会

11 月	
1 金	諸聖人
2 土	死者の日
4 月	11時 教区納骨者および死者 祈念ミサ(カテドラル)
6 水	10時 顧問会・責任役員会
7 木	[常任司教委員会]
9 土	ラテラン教会の献堂
10 日	聖レオ1世教皇教会博士 レオ池長潤名誉大司教霊名
12 火	日韓司教交流会(~15日迄)
17 日	聖書週間(~23日迄) 貧しい人のための世界祈願日
24 日	王であるキリスト 世界青年の日

12 月	
1 日	宣教地召命促進の日(献金)
5 木	[常任司教委員会]
9 月	無原罪の聖マリア
11 水	教皇訪問5周年記念ミサ 10時 顧問会・責任役員会
12 木	[臨時司教総会]
25 水	主の降誕 (教区本部事務局休業)
26 木	11時 みことばの祭儀 聖ヨハネ使徒福音記者
27 金	使徒ヨハネ諏訪榮治郎 名誉司教霊名
28 土	(教区本部事務局年末年始休業 2024. 12/28~2025. 1/5)
29 日	聖家族

2025年 1 月	
1 水	神の母聖マリア 世界平和の日
5 日	主の公現
6 月	(教区本部事務局2025年始業)
9 木	[常任司教委員会]
12 日	主の洗礼
15 水	10時 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
17 金	教区新生の日<1・17>
19 日	キリスト教一致祈禱週間 (~26日迄) 14時 教区宣教司牧評議会
26 日	神のことばの主日 世界こども助け合いの日(献金)
27 月	教区司祭修養会(~31日迄)
28 火	聖トマス・アクィナス司祭教会博士 前田万葉大司教霊名

2 月	
1 土	ユスト高山右近列聖を祈る集い
2 日	主の奉献
3 月	福者ユスト高山右近殉教者
5 水	日本26聖人殉教者
6 木	[常任司教委員会]
9 日	新教会建設献金の日
11 火	世界病者の日
12 水	10時 顧問会・責任役員会
17 月	[定例司教総会(~21日迄)]

3 月	
5 水	灰の水曜日 四旬節愛の献金(四旬節中)
6 木	[常任司教委員会]
14 金	性虐待被害者のための 祈りと償いの日
17 月	日本の信徒発見の聖母
19 水	聖ヨセフ
20 木	教区召命の日
21 金	大阪高松教区司教座 聖堂献堂記念日
25 火	神のお告げ
26 水	10時半 司牧者のための祈りと ゆるしの秘跡の集い 14時 顧問会・責任役員会
31 月	教区会計年度末

リスナーの方
募集中!

小さきテレジアの会

「大阪高松教区報」を音訳し、データCDに録音して、大阪高松教区の視覚障害者の方々にお送りしています。データCDは、プレストーク・パソコン・MP3対応のCDラジカセで聞くことができます。



音訳というのは、一般に認識されている朗読とは、すこし違います。書かれている内容を正確に、あまり感情をこめすぎずに、ニュースを読むアナウンサーのイメージです。

問合せ 夙川教会小さきテレジアの会
☎ 0798-22-1649
Fax 0798-34-3585
担当: 音訳(デジ)山口

聖霊に導かれて — 沈黙の祈りと会話

「日本のシノドスのつどい」

2024年3月7日〜8日の二日間、東京潮見にある日本カトリック会館で開催されたつどいには、日本の15教区から司教と、司祭・奉獻生活者・信徒の各1名ずつが一同に会した。

世界のカトリック教会

2023年10月にシノドス(世界代表者会議)第16回通常総会が開催された。その後、教皇庁シノドス事務局から2024年の第2セッションに向けての各教区、各小教区で準備するようなどの指示があった。

第2セッションに向けた準備として、昨年11月23日、大阪高松教区シノドス担当チーム主催の『シノドス』にも歩む教会』に向けての集い』をテーマに、アジアシノドス及びローマシノドスに参加された日本のシノドス特別チームの一人、西村桃子さん(セルヴィ・エヴァンジェリー会員)を講師に迎え、「霊における会話」を、サクラファミリアで開催し、今回の2日間の「つどい」に臨んだ。

今回のつどい

・シノドスの教会の姿をあらわしている「霊における会話」を経験すること。
・世界代表者司教会議第16回通常総会 第一会期の『まとめ』報告書 宣教するシノドスの教会』に基づいて、わたしたちの教会の現状を「霊における会話」の手法を用いて話し合うこと。
・以上の二つの内容を本年5月15日までに教皇庁シノドス事務局に提出すること。

霊における会話

「霊における会話」は、人と人が耳を傾けあい、ともに考え(共同責任)、ともに祈り、決断する(共同識別)という教会の「シノダリティ(教会が生き、働く)」をよく表すものでこの「霊における会話」をきっかけにして神の民としての共同体の体験が深まってくる。

個人が尊重される現代社会にあつて、「わたし」から「あなたへ」そして「わたしたち」へと、こころの変化が生まれていくのに「霊における会話」は適切なものとなる。

今回のつどいも西村桃子さんを講師に『霊における会話』について』の説明を受け、沈黙のうちに祈った。そして司教、司祭、奉獻生活者、信徒が同じテーブルに着き、ファシリテーターの進行で3回に分けて分かち合った。

1 回目には、テーマ『シノダリティ：経験と理解(「まとめ文書」第一部 1より)』話し合った結果3つのポイントに絞られた。

- ① 「シノダリティ」ということばをはじめ聞いて思ったこと。
- ② 各教区、各信仰共同体で取り組みながら、心にある「シノドスの教会」とはどんな教会か。
- ③ つどい、耳を傾け、会話し、いっしょに祈るといふシノドス的な教会の実践をどのよう



日本のシノドスのつどいを終えて

聖霊の導き

2 回目には、報告書が提示する20項目の中から6つのテーマが選ばれ、希望するテーマに分かれた。教会での宣教活動に触れ、課題や提案にも踏み込んでの発言があり、互いに耳を傾けることで気づきも多くあったので、いくつか紹介したい。

◆多言語・多文化の人びととの交わりの中、めざして考えることは、関わり(寄り添い、いやしの膿)を出し導く。交わりの教会を。福音宣教は原動力(洗礼を通してイエスと出会ったこと、ミサに与られること)。教会の中での危険な二つのことばは「大変」と「難しい」。

◆「期待はしていない、けれど希望している」と言われたことばが印象的。前向きに人びとと共に歩み、宣教する教会となることを祈りながら、これからの活動につなげていきたいと願っている。

◆「期待はしていない、けれど希望している」と言われたことばが印象的。前向きに人びとと共に歩み、宣教する教会となることを祈りながら、これからの活動につなげていきたいと願っている。

「日本のシノドスのつどい」に参加して

前田万葉大司教・枢機卿

「日本のシノドスの集い」は、日本の教会がともに歩んでいるように感じました。司教、司祭、奉獻生活者、信徒が一緒に、しかも女性、男性、移住者、老若男女がともに歩む姿だと強く感じました。これに、青少年、特に子どもたちが加わりその声を聴くことが出来れば良いなとも思いました。「霊における会話」という方法が、「ともに歩む教会 交わり、参加、そして宣教(シノドス)のキーワードだと強く感じました。すでに「教区シノドスチーム」がリードして、実践を始めています。「教区や小教区のシノドスの集い」を広めていただき、教区民がこの「霊における会話」の方法に親しみ、「ともに歩む教会」となりますことを期待いたします。

酒井俊弘補佐司教

「霊における会話」を果たしてできるのだろうか……という不安がありました。案ずるより産むがやすし……の言葉の通りでした。一人ひとりの上に聖霊が豊かに注がれるのを体感できる場でしたが、それを可能にしたのは、会話を始める前に半時間、各ステップの間に数分間ずつとられた沈黙のうちの祈りでした。少し長く感じるほどの祈りで準備をし、合間の祈りで聞いたことを振り返ったからこそ、ネガティブな議論ではなくポジティブに考える場となり、これこそがシノダリティを生きる教会の姿だと納得した二日間でした。この経験を教区のさまざまな場で伝えていき、一人でも多くの皆さんが「霊における会話」を味わってほしいと願っています。

ヌノ・リマ神父

「シノドス」という言葉は会議を意味するだけではないことをすでに知っていました。その側面は「シノダリティ」といい、日本語で「ともに歩む」という言い方で表されています。今回の「日本のシノドスの集い」はまさにともに歩む体験でした。すべての教区の司教 すべての教区からの司祭、修道者、信徒の一人ずつが東京のカトリック会館に集まって、「霊における会話」というシノドス的な教会における識別のダイナミズムを体験することができました。宣教する教会のために、参加者がそれぞれの信仰を証しし、喜びと希望、悩みや苦勞を分かち合いました。とても有意義な時間となりました。当然のことですが、シノダリティは新しいことではありません。神様がすべての時代の人々とともに歩んでくださるからです。

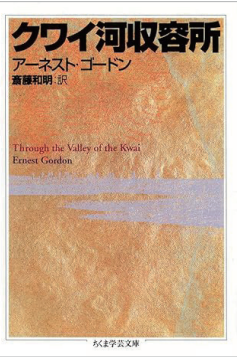
高山 徹神父

今回、シノドス特別チームの一人として企画から関わらせていただきました。当初は、日本の教会として報告書を出すとのミッションがありました。それが、チームとして「日本の教会のシノドス」を開きたいと言う気運になりました。短いスパンでの実現のため、チーム内の諸先輩方並びに関係者の皆さまの素晴らしいご尽力がございました。毎週重なるミーティングの中で次第に実現へと向かう過程を、私も共に歩ませて頂いて幸せでした。当日は、本当に霊の導きを感じる、素晴らしいものでした。多くの方が、霊における会話を体験しシノダリティについて理解を深めたと喜びのうちに語っておられるのが印象的でした。これからも共に歩ませていただきたいと思います。

◆今回の分かち合い方はとても良い方法だった。積み重ねと訓練により理解は得られ、浸透していくように感じた。この喜びをこれからどのように分かち合うか、チームで相談を重ねながら、ともに歩む方向性を模索していきたい。

「日本のシノドスのつどい」では、多くの方にこの「霊における会話」を体験していただき、教会わたしたちが直面している多くのチャレンジや課題について一緒に考える良いチャンスとした。(文 大阪高松大司教区シノドス担当チーム スター 田村悠紀栄)

誼訪榮治郎名誉司教



『クワイ河收容所』(アーネスト・ゴードン著、齋藤和明翻訳、ちくま学芸文庫、税込1,320円)
教区内の司祭が記憶に残る、また心に残った書籍を司祭紹介を兼ねて掲載。今回は、誼訪榮治郎名誉司教が担当。



< 司教紹介 >

生年月日: 1947年(S22年)7月8日(現在76歳)
77年3月 東京カトリック神学院卒業
76年11月23日 大阪教区司祭叙階
77年4月 園田教会
79年4月 香里教会・81年4月 夙川教会
82年4月 大阪カトリック神学院院長
89年4月 高槻教会
77年~94年 大阪教区内ミッションスクール担当
95年3月 阪神・淡路大震災 住吉教会
97年4月(旧)中山手・(旧)下山手・(旧)灘教会
カトリック社会活動神戸センター長
99年1月 神戸中央教会(神戸東ブロック共同宣教司牧チーム)
2005年7月 高松教区 江ノ口教会(宣教司牧チーム)
11年6月 カトリック高松司教区・司祭叙階
22年9月 司教職退任

私にとって「第二の聖書」と呼ぶべき大切にしてきた本が何冊かありました。高校時代は「キリストに倣いて」(トマス・ア・ケンピス)や「出家とその弟子」(倉田百三)など赤鉛筆で印を入れながら読んだものです。神学生時代は「宮本武蔵」(吉川英治)や山本周五郎など、日本の精神性が福音とどのように重なるかたいへん意味があり読みまくりました。そして今回、皆さまにお勧めしたい本はアーネスト・ゴードン著「Through the Valley of the Kwai」「死の谷を過ぎて」(クワイ河收容所)新地書房です。太平洋戦争におけるビルマ戦線で日本軍がクワイ河に死の鉄橋をかける計画に際し、捕虜の英国兵たちの体験記録です。

「戦場にかける橋」というタイトルで映画化されたのですが、そのジャングルでの捕虜收容所で何があったのか、映画では取り上げられていない、「貴重な体験」を著者であるアーネスト・ゴードンは語ります。ジャングルの收容所ではまさに人間が人間でなくなり、ドブネズミのように生きる日々が続くのですが、ある一人の兵士が戦友のために自らの命を懸け犠牲となった事件を通して、一人ひとりが人間を取り戻し、いつしか部隊が福音に生きること目覚めていく日々が語られています。過酷な労働現場から帰った後、彼らはまず病人を見舞い、与えられたカリスマを持ち寄り、生きる希望を作り出していく中で「神の国」(友であるイエスを分かち合う)の現実に目覚めていく体験が語られます。終戦となり夢にまで見た英国に帰国した著者は「あのジャングルが本当に神の国であった」と述懐しています。現代の福音書です。お勧めします。

次回は小山一(終身助祭)です。



青年のためのつどい

ここからが始まり

2月23日~24日、徳島教会で大阪高松大司教区青年有志の集まりを行い、約20人の青年たちが参加した。

初日は自己紹介をして... 徳島の文化を体験し... 笑いがあふれた時間を過ご... 最後は一緒にミサに... 今後もこのような集まり... 活動をどんなものにし... ていくかを青年たちと... もに考える予定である... 青年たちの新しい活動... ためにお祈りください... (文 春名 昌哉神父)



顔合わせも兼ねて青年有志で集まり、今までの活動を語り合った。

修道会と信徒と共に歩んだ75年

仁豊野教会には聖堂がありません。ミサは聖フランシスコ病院修道女会聖堂を、事務や集会は淳心会施設をお借りし活動しています。75年前の創立以来、時を同じく当地で活動を開始された淳心会、聖フランシスコ病院修道女会、そして聖母奉献会の三つの修道会の聖職者の方々と共に歩むお恵みを、仁豊野教会はいただいております。ちょうど立春のこの日、「立春の75年 仁豊野かな」「立春の75年 シノダリティ」の句に続き「仁豊野教会と3修道会は運命共同体のようです。神様の恵みを唯一の希

2024年2月4日(日)前田万葉大司教主司式により創立75周年記念ミサを行った。
仁豊野教会には聖堂がありません。ミサは聖フランシスコ病院修道女会聖堂を、事務や集会は淳心会施設をお借りし活動しています。75年前の創立以来、時を同じく当地で活動を開始された淳心会、聖フランシスコ病院修道女会、そして聖母奉献会の三つの修道会の聖職者の方々と共に歩むお恵みを、仁豊野教会はいただいております。ちょうど立春のこの日、「立春の75年 仁豊野かな」「立春の75年 シノダリティ」の句に続き「仁豊野教会と3修道会は運命共同体のようです。神様の恵みを唯一の希

仁豊野教会創立75周年 これからも歩みとともに

望とするこの共同体が、これからも『ともに』希望をもってシノダスの歩みを極めて行きましよう。というお言葉を前田大司教様からいただきました。ミサ後、ベトナム舞踊、集合写真のあと、信徒ホールでの祝賀会では、ルド・ゴーセンス主任司祭の乾杯に続き、ハンドベル、聖歌隊演奏、ベトナム青年の踊りのほか、教会学校の子どもたちの手品が披露され、祝賀ムードを盛り上げる中、信徒最長老と信徒代表による大司教様へのお礼の言葉と、未来への希望と決意の挨拶で会は締めくくられました。年

◆ 教会紹介
◆ 設立年月日 1949年2月2日
◆ 特色
独自の聖堂を持たない教会。しかし、一帯には、聖フランシスコ病院修道女会、淳心会、聖母奉献会の修道院、教区の「仁豊野ウイラ」があり、多くのシスター方、神父様方とともにあるお恵みをいただいております。緑の広場、教会墓地へ続く並木道、教会学校のサマーキャンプなどにご利用いただける宿泊施設「淳心の家」などすべてが「仁豊野『エクレシア』」を構成しています。





「カテキズムの学び」

第49回 ゆるしの秘跡(中間)

*クラスは右のQRコードから



ゆるしの秘跡の第2回目のクラスで学んだカテキズムの部分の最後は、(ゆるしの秘跡の効果)でした。

ゆるしの秘跡を受ける人には、良心の平和と静けさ、それに深い霊的慰めが与えられます。神との和解の秘跡は真の「霊的復活」をもたらし、こうして、神の子としてのいのちの尊厳と宝とが取り戻されます。(1468番)

この素晴らしい効果が得られるためには、罪の究明と痛悔、そして告白が必要です。

(痛悔とは)罪を犯したことを心から悲しみ、その罪を忌み嫌うことであり、今後再び罪を犯さないという決心を伴うものです。(1453番)

ゆるしの秘跡を受ける準備として、神のことに照らして良心の究明を行うことが勧められます。(1454番)

司祭への告白は、ゆるしの秘跡の本質的な要素の一つです。(1456番)

では、何を元に究明するのがよいのでしょうか。クラスでは、神の十戒や「七つの罪源」「七つの慈善のわざ」などととも、「教会の五つのおきて」に触れました。「もう教会のおきてはなくなった……」と誤解されている人が多い昨今ですが、今もあります！2010年発行の『カトリック教会のカテキズム要約』の巻末に載っています。

- ① 主日と定められた祝日にミサにあずかり、それらの日を聖とすることを妨げる仕事や活動を控えること
- ② 少なくとも年に一度自分の罪を告白すること
- ③ 少なくとも復活節の間に聖体の秘跡を受けること
- ④ 教会が定めた日に肉食を差し控え(小斎)、断食(大斎)を守ること
- ⑤ おのおのの分に応じて教会の財政を助けること。

去る2月28日の司牧者月修では、司牧者たちが共同回心式を通して、罪の究明と痛悔、個別告白の機会を持ちました。「小罪の定期的な告白はわたしたちの良心を培い、悪い傾きと戦い、キリストによっていやされ、霊的生活において向上していく助けとなります」(1458番)。この時報が届くころは復活節ですが、これから心掛けていきたいものです。

(文 酒井俊弘補佐司教)

ガラシア健康だより

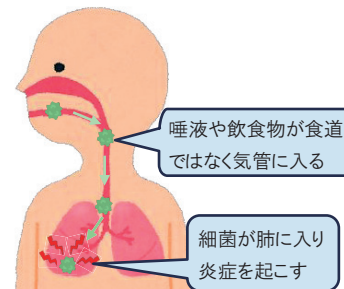
介護予防 ～介護をする人受ける人へ～

大阪府箕面市に本拠を置く医療法人ガラシア会が、全6回の介護予防をテーマにした健康情報をお届けさせていただきます。皆さまの健康への一助になれば幸いです。

第6回 誤嚥性肺炎の予防

誤嚥性肺炎とは

飲み物や食べ物が気管に入って「むせた」経験はないでしょうか。高齢になると喉(のど)の筋肉も衰えてきて、気管に飲食物が入ってしまうことがあります。その時、口の中にある細菌と一緒に肺の中に入り、肺炎を起こします。それを「誤嚥性(ごえんせい)肺炎」といいます。



誤嚥性肺炎の予防策

誤嚥性肺炎の予防には、以下のことが有効です。

- ① 口の中を清潔に保つ口腔ケア
- ② 誤嚥しないための姿勢調整や食べ物の調整
- ③ 良好な栄養状態
- ④ 肺炎球菌のワクチンを接種

ポイント
姿勢：背筋を伸ばしてあごをひく
飲み込みにくい時
：片栗粉や市販のトロミ材でとろみをつける

歯周病と誤嚥性肺炎

歯周病とは、細菌の感染によって引き起こされる炎症性の疾患です(図)。ハミガキが不十分なことと不健全な生活習慣の蓄積が発症の原因となります。誤嚥性肺炎の原因となる細菌の多くは歯周病菌であることから、歯周病の予防が誤嚥性肺炎の予防につながります。歯周病の原因となる細菌の塊である歯垢を歯につけないことが歯周病の予防の基本となります。歯と歯茎の間に溜まりやすく長期間付着して固まったものを歯石といいます。歯垢の除去は毎日のハミガキで行えますが、歯石になると歯科医院での歯石除去が必要になります。家庭でできる歯周病対策は、ビタミンCやカルシウムが多く含まれる野菜や果物、乳製品を摂取することです。これらは歯茎の血行をよくし歯の形成を助けます。喫煙やストレスなど生活習慣の見直しも予防策のひとつとなります。



嚥下に対する取り組み

ガラシア会の病院、老健、訪問看護には言語聴覚士が配属しています。言語聴覚士は口腔を専門とした職業です。脳卒中や神経難病による嚥下機能の低下には嚥下リハビリが大切です。通所サービス、在宅でも誤嚥性肺炎予防などの指導を受ける事は可能です。お食事の際にムセが多くなったと感じる方は、病院受診やご利用の施設、サービス等へご相談を検討されてはいかがでしょうか。



医療法人ガラシア会ガラシア病院
お問い合わせ：072-729-2345 (代表)

2024年 司祭・司牧者人事異動(第2次)について

教区の皆さま



2024年3月22日
大司教 前田万葉

主のご受難とご復活を思い日々お祈りを捧げられていることと思います。下記の通り人事異動(第二次)が決まりましたのでお知らせいたします。原則として復活節第2主日4月7日(日)からの一週間内に移っていただき、4月14日(日)より正式に新しい教会に着任するようにお願いいたします。以上

- * 名前の後のかっこ内は現任地、矢印の右が新任地
- 【北摂地区】**
Fr.ヨハネス・クリストファロス・レンゴ C.Ss.R.(吹田修道院 日本語研修) → 吹田教会 助任
- 【大阪南地区】**
Sr.梶野芳子(玉造教会 協力) → 師イエズス修道女会 修道院
Sr.ユーン・ティ・ビク・リュウ(大阪聖ヨゼフ宣教修道女会 修道院) → 玉造教会 協力
- 【その他】**
Fr.エマヌエル・ポボン M.E.P. → 主日ミサ協力(神戸在住 平日は勉強)

また、香川地区の司牧担当者が決まりましたのでお知らせいたします。

- 【香川地区】**
桜町教会・番町教会：Fr.森一幸
三本松教会：Dn.西川康廣
小豆島教会：Fr.高山徹
坂出教会・池田教会：Fr.イスマエル・ゴンザレス
丸亀教会・善通寺教会：Fr.高山徹
観音寺教会・伊予三島教会：Fr.松浦信行

訃報

Sr ヴィアンネ長谷川光恵
(煉獄援助修道女)は、2月23日、急性心筋梗塞のため帰天。横浜市出身。93歳。奉獻生活65年。



Sr マリア・リベラータ樋口英子(大阪聖ヨゼフ宣教修道女会)は、3月1日、老衰のためガラシア病院で帰天。秋田県出身。87歳。奉獻生活53年。



の日その日にある」と言い、一回限りの積み重ねを日々大切に過ごした。
◆ Sr プレゼンタシオン寺田陽子(聖ドミニコ宣教修道女会)は、3月2日、左大腿悪性軟部腫瘍のため四国がんセンターで帰天。愛媛県出身。74歳。奉獻生活52年。



◆ 1959年2月初誓願宣立後、小教区の司牧、会の事業に携わり、同時に共同体の副委員長、院長の責任を担い会員に奉仕した。また、顧問など会の統治の分野で働き、86年〜92年まで管区長として務めた。一言でいえば沈着冷静、それでいて常に穏やかに会と多くの人との関わりを持ち、生涯奉仕に生き抜いた姉妹であった。

◆ 百合学院、旧英知大学、ガラシア病院、幼稚園などで使徒職に携わり、事務分野におけるプロパーでした。几帳面でコツコツ仕事に取り組む、臨機応変に関係者のサポートができ、そのかわら、小教区やマック(アールコール依存症回復施設)への奉仕を長年続けた。現役を退職した後は共同体の責任者などを務めた。静かでソフトな語り口で、コミュニケーション能力があり、安心できる存在で信頼された。「奉獻生活はそ

◆ 1971年12月初誓願後、伊丹、岡崎、沖繩など38年間を幼児教育に尽力し、教諭・幼稚園園長を務めた。子どもの成長を喜び、明朗活発な人柄は、共同体人との関わり、豊かな体験、美しい歌唱、必要な人に手を差し伸べ、だれに対しても心優しい笑顔が絶えない姉妹であった。

来、見たい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

日時 4/25(木) 18:30~20:00

講師 酒井俊弘補佐司教

場所 サクラファミリア / YouTube配信あり

主催 使徒職養成委員会

問 ☎06-6941-9700

サクラファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく

日時 4/22(月) 18:00~19:30 (夜の部)・4/23(火) 10:30~12:00 (昼の部)

お話し 和越 敏神父(仁川教会・コンベンツアル聖フランシスコ修道会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆「福音書における祈り」

日時 4/8・5/13・6/24・7/8 (月) 13:30~15:00

参加費 ¥500

和田幹男神父◆聖書研究講座『主のしもべイエス』

日時 4/3(水) 10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 4/8・4/22(月) 17:00~18:30

やさしいスペイン語◆言語を学びながらカトリックの文化に触れてみませんか

日時 第1・3(水) 18:00~19:00

講師 Sr.エンシソ・アルダナ・グロリア ※事前要問合せ

祈りによる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00~19:30

問 サクラファミリア

☎06-6225-8871

✉f.sacra@osaka.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会

日時 6/1(土)~6/22(土) 4回 16:30~18:00

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 9/1(日)~9/22(日) 4回 14:00~16:00

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎078-851-2846

✉renraku@rokko-catholic.jp

※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家

◆日帰り黙想会

日時 4/25(木)・4/26(金) 10:00~15:30

指導 染野治雄神父(4/25) 山内十束神父(4/26)

参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 4/26(金) 17:00~4/27(土) 15:30

指導 染野治雄神父

参加費 ¥9,000

◆カトリック教会のカテキズム

日時 第1・3(水) 10:00~12:00

指導 染野治雄神父

参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水) 10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家

☎0797-84-3111

講座・研修会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金) 10:00

場所 神戸学生青年センター

参加費 ¥1,000

主催 神戸国際支縁機構

問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

マリッジエンカウンター ウィークエンド◆婚姻の秘跡を生き生きと生きる

対象 夫婦・司祭・修道者

日時 5/3(金・祝)~5/5(日)

場所 聖ヨハネ病院修道会(神戸)

参加費 自由献金

申込・問 平尾 ☎078-991-5220

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える 15~35歳までの若者の集い

日時 第4(土) 14:00~16:00

場所 大阪YCWセンター (またはZoom)

問 レネ神父・水元

☎072-232-8063

✉osakaycw@gmail.com

HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エッファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフトcaptiOnlineを使いパソコンまたはスマホで練習します。

日時 毎月第2(水) 10:00~12:00

場所 教区本部事務局 1階会議室

主催 要約筆記グループ “エッファタ!”

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い

いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK

日時 毎月第3(日) 14:00~16:00

場所 姫里集会所

参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)

申込 吉川まで

問 ☎078-583-2525

✉yassan.yoshikawa@nifty.com

力障連大阪フレンドリー ◆点字部の勉強会

対象 パソコン点字に関心のあるかた、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時 毎月第2(火) 13:30~15:00

場所 姫里集会所(奇数月) 北須磨教会(偶数月)

申込 笠松まで

問 ☎090-5661-4324

☎072-722-0271

✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

手話に興味をお持ちの方へ ◆聞こえない人も聞こえる人もボランティア会の見学にいらしてください

内容 聖書の学び・教区活動の手話通訳者派遣 ※手話講習会ではありません

日時 第1・3・5(水) 10:00~14:00

場所 姫里集会所

主催 大阪教区聴覚障がい者ボランティア会

問 障がい者委員会

dis@osaka.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い ◆大阪梅田教会

日時 第1(土) 14:00

問 高塚

☎06-6921-0693

◆加古川教会

日時 第3(火) 13:00~14:30

問 佐藤

☎079-435-1157

カリタスのとサポートセンターボランティア受け入れ開始

申込はGoogleフォームからの申込となる

URL <https://forms.gle/nd7BQ4sHEr7NAep77>

ここから読み取ってください ▶



サポートセンターは木曜日がお休みです

①20歳以上で心身ともに健康な方②軽トラックやワゴン車などの運転ができる方③特にマニュアル車や2tトラックの運転ができる方を優先(復旧作業が急務のため)

【日程】 ボランティアは2泊3日のみの受入れ。(5/12まで)
①金曜日~日曜日
②月曜日~水曜日
【スケジュール】
・1日目 17時30分~18時に支援拠点集合。
・2日目 ボランティア活動(災害ボランティアセンター)。
・3日目 ボランティア活動(16時ごろ終了予定その後各自帰路)。
【活動内容】
七尾市災害ボランティアセンターの災害瓦礫の運搬。
【支援拠点状況】
支援拠点はユースホステルとイメージするとわかりやすい。
ご飯の提供は行ってないので各自で調達する。入浴は銭湯。

案内・報告

主日ミサ時間変更

【申本教会】 11時半
【新宮教会】 9時
※変更は(4月7日~9月29日)まで

4月司教予定

(下記「行事等日程」以外)

- ・4/7~15 アド・リミナ(司教団バチカン訪問)(+M)(+S)
- ・4/21 夙川教会堅信式(+S)
- ・4/29~30 校長・理事長・総長管区長のつどい(+M)(+S)

+M=前田万葉大司教
+S=酒井俊弘補佐司教

大阪のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療

ホスピス・糖尿病内科 リハビリ・神経内科 肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会
理事長 前田万葉大司教
チャプレン 松本信愛神父

看護師 募集中

〒562-8567 箕面市粟生間谷西 6-14-1
☎072-729-2345

医療法人ガラシア会



ひとりで悩まないで

~私たちに聴かせてください~

カトリック大阪高松大司教区 ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)

午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

はばたき

新年度のはじまり、この4月から大阪高松教区報の新しい歩みが始まりました。カトリック新聞が月一回の無料配布となるニュース、驚きをもって受け取りました。将来的に教区報もネットでの配信に力を入れて、紙ベースは縮小していくことになるのかな? と思いましたが、紙媒体での発行を続けてまいります。そのためにも、教区の皆様の支援が必要で、一番の助けは、紙面を手にとって読んでいただくことです。今は無料配布している旧高松教区の各小教区等では、6ヶ月後に有料化させて頂きます。その時には部数を、改めて決めていただきます。▼一部でも多く購読していただけるよう努力してまいります。

(広報委員会 川柳裕明)